

# 6月県議会 一般質問(6月23日)

## 新型コロナウイルスに関する諸課題

### 公立・公的病院の再編・統合について

私は今年2月議会定例会の一般質問で、「公立・公的病院の再編・統合について」取り上げ、国の病床数削減ありきの進め方について問題点を指摘した。

**Q酒井**・公立・公的病院の再編統合を議論する根拠である「地域医療構想」には、感染症対策の視点が欠けており、将来の大規模な感染症の発生を想定すれば、「地域医療構想」及び公立・公的病院の再編・統合や病床数のあり方に関しては、白紙に戻して議論することを提案するが？

**A知事**・これまで感染症対策という点については議論が十分ではなかった。公立・公的病院が果たす役割と重要性は極めて大きい。「地域医療構想」の取り



組みや公立・公的病院の地域での役割の検討について、これまでの延長線上で議論を進めてはいけない。今後、感染症対策に係る国全体の動向も踏まえながら、本県の実情を見た上で取り組みの進め方を考える。

※提案を受けて、知事はこれまでの議論の進め方を変更し、公立・公的病院の再編・統合や病床数のあり方に関しては、県下の状況を見る中で、慎重に検討していく姿勢を示しました。

### 高齢者介護について

私は、平成29年6月議会定例会で「介護人材の確保について」一般質問を行い、知事は「人材の確保に向けた取り組みを進め、予算の確保にも配慮しながら、多くの人材を養成していく」と答弁している。

**Q酒井**・今後も発生が想定される感染症に対応するためにも、また入所・通所・訪問の介護現場における慢性的な人材不足を解消するためにも、介護人材の確保を進めなければならぬが、今後県として職員の待遇改善など、どのように対応していくのか？

**A知事**・介護人材を確保するため、県としても様々な取り組みを行う。給与面では、国の加算制度の導入に向けてアドバイザーの派遣を行う。職場環境では、中高年齢者や子育て中の女性等多様な人材に介護職場で働いて

もらう取り組みへの応援や、介護ロボットの導入拡大を進めていく。介護人材の確保・定着のため、しっかり取り組む。

※質問に対して、コロナ対策では高齢者介護の現場への支援を強化する方針を示しました。また、介護人材の確保については、給与水準の向上を含めて施策を充実する姿勢を明らかにしました。



高校駅伝で応援(高齢者施設「みぶの里」)

### 県組織について

**Q酒井**・新型コロナウイルス感染症をはじめ、将来の新たな感染症に係る危機管理体制を充実するため、感染症対策を担う専門の課を、健康福祉部内に早急に設置することを提案するが？

**A知事**・感染症対策は、感染拡大時には業務量が飛躍的に増大する。今後に備えて、独立した専門の課の設置も含めて万全な体制を検討する。

**Q酒井**・保健所の職員数が減少し、特に保健師が不足している中で、健康危機管理に対する体

制は十分ではなく、特に感染症発生時に迅速かつ的確に対応するためにも、保健所の組織を充実することを提案するが？

**A知事**・第2波を想定し、対応に必要な人員を算出した上で、クラスター対策チームの設置等を行う。保健所の体制整備に係る計画を策定して、組織体制の充実・強化を図る。

※提案に対する知事の答弁は具体的であり、近く健康福祉部と保健所の組織の充実が実現することになります。

### 観光振興について

私は、今年2月の議会定例会で「信州ブランドについて」一般質問を行い、知事は「信州のブランド力を更に強め、観光振興を進めていく」と答弁している。

**Q酒井**・コロナの収束後の長野県の観光振興を図るには、これまでの発想を大胆に転換して、「インバウンド戦略」を含めた県の「観光戦略」(2018年度策定)を根本から練り直すことを提案するが？

**A知事**・新型コロナウイルスの影響でインバウンドは積極的に取り組むことができない。「観光戦略」をこのまま進めることができず、「観光戦略」を補完するものとして新たに「観光振興方針」を早急に策定する。

**Q酒井**・今後県の観光の再生及び観光振興をどのように進めていくのか、長期的なスケジュール感と基本的な方向性は？  
**A知事**・当面のWithコロナをどう乗り切るかという観点と、

将来を見据えた対策の両面を持ちながら観光振興の再生を図る。リゾートテレワークを今後大都市の企業等に対して売り込んでいく。連泊の促進や、リピーターを引き付ける取り組みなど工夫を凝らす。ITも活用する。

※「観光戦略」を補完する形で「観光振興方針」を策定し、実行に移していくとの知事答弁がありましたので、今後に期待できます。

### 国道153号「伊駒アルプスロード」着工

長野県の長年の懸案事業である「伊駒アルプスロード」の事業化が決定し、本年度から全区間にわたって国により事業が施工される。

**Q酒井**・今後の事業進捗のスケジュールを、どのように想定しているのか？

**A建設部長**・国土交通省によると、今年度より測量・地質調査・設計に着手し、次年度以降工事の施工に向けて用地の取得を進めていく。県としては、国に対して地元調整及び用地取得事務への積極的な協力を行う。

**Q酒井**・これまでの都市計画決定などの諸手続きを経る過程で、地元から出された要望や地元と約束した事項について、どのように実現していくのか？

**A建設部長**・住民からの意見・要望に対しては、地元の市・村との調整を始めている。事業主体となる国と一緒に計画を進める中で、住民に対して丁寧に対応していく。  
**Q酒井**・「伊駒アルプスロ



予定ルート of 東春近の田園風景

ド」の整備への意気込みは？  
**A知事**・「伊駒アルプス」をはじめ、関連する道路の整備にも引き続きしっかりと取り組んでいく。一日も早い全線開通に向けて取り組む。

※地元の皆さんが心配している地元意見や要望への対応については、県が責任をもって対応することが明確にされました。

みなさまの **ご提言** や **ご要望** をお寄せください。

## 酒井茂ブログ随時更新中!

公式サイト: <https://shigeru-sakai.com/>

酒井茂

検索



携帯サイトへ簡単アクセス

### 酒井茂事務所

〒399-4432 伊那市東春近原新田8243

TEL/FAX.0265-73-5606

E-mail: info@shigeru-sakai.com